

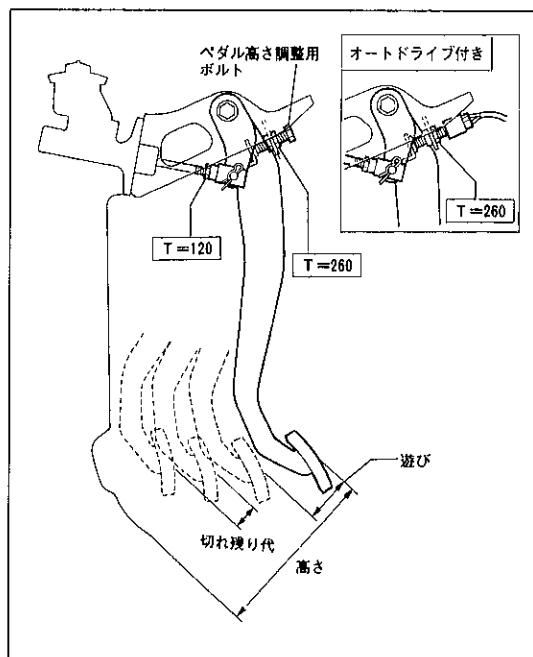
4 クラッチ

クラッチペダル	4-2
準備品	4-2
高さおよび遊び調整	4-2
脱着分解構成図	4-2
クラッチマスターシリンダー	4-4
準備品	4-4
脱着構成図	4-4
分解構成図	4-5
断面図	4-5
分解	4-6
組み付け	4-6
クラッチリリースシリンダー	4-7
準備品	4-7
脱着分解構成図	4-7
クラッチ本体	4-8
準備品	4-8
脱着構成図	4-8
断面図	4-9
取りはずし	4-9
構成部品の点検	4-9
取り付け	4-10

クラッチペダル

準 備 品

油 脂 その他	キヤッスル・MPグリースNo. 2	各部塗布用
------------	-------------------	-------



X0769

高さおよび遊び調整

1 ペダル高さ調整

基準値 (フロアパネル上面から) 163.4~173.4mm

注意 オートドライブ付き車はリリーススイッチで調整するためコネクターを切り離してから行う。

2 ペダル遊び調整

基準値 プッシュロッドの遊び (ペダル上にて) 1~5mm

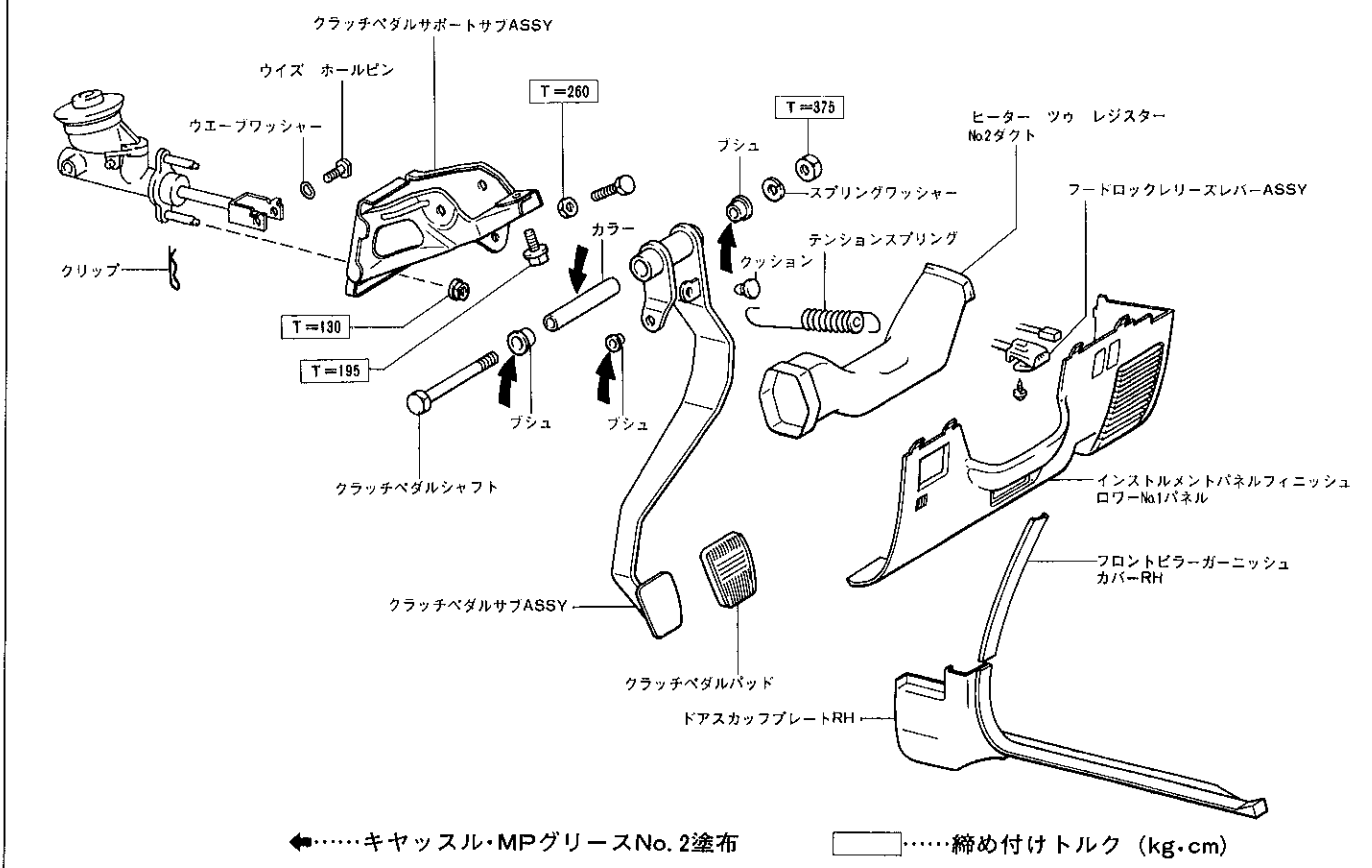
総合の遊び 5~15mm

3 クラッチ切れ残り代点検

基準値 25mm以上

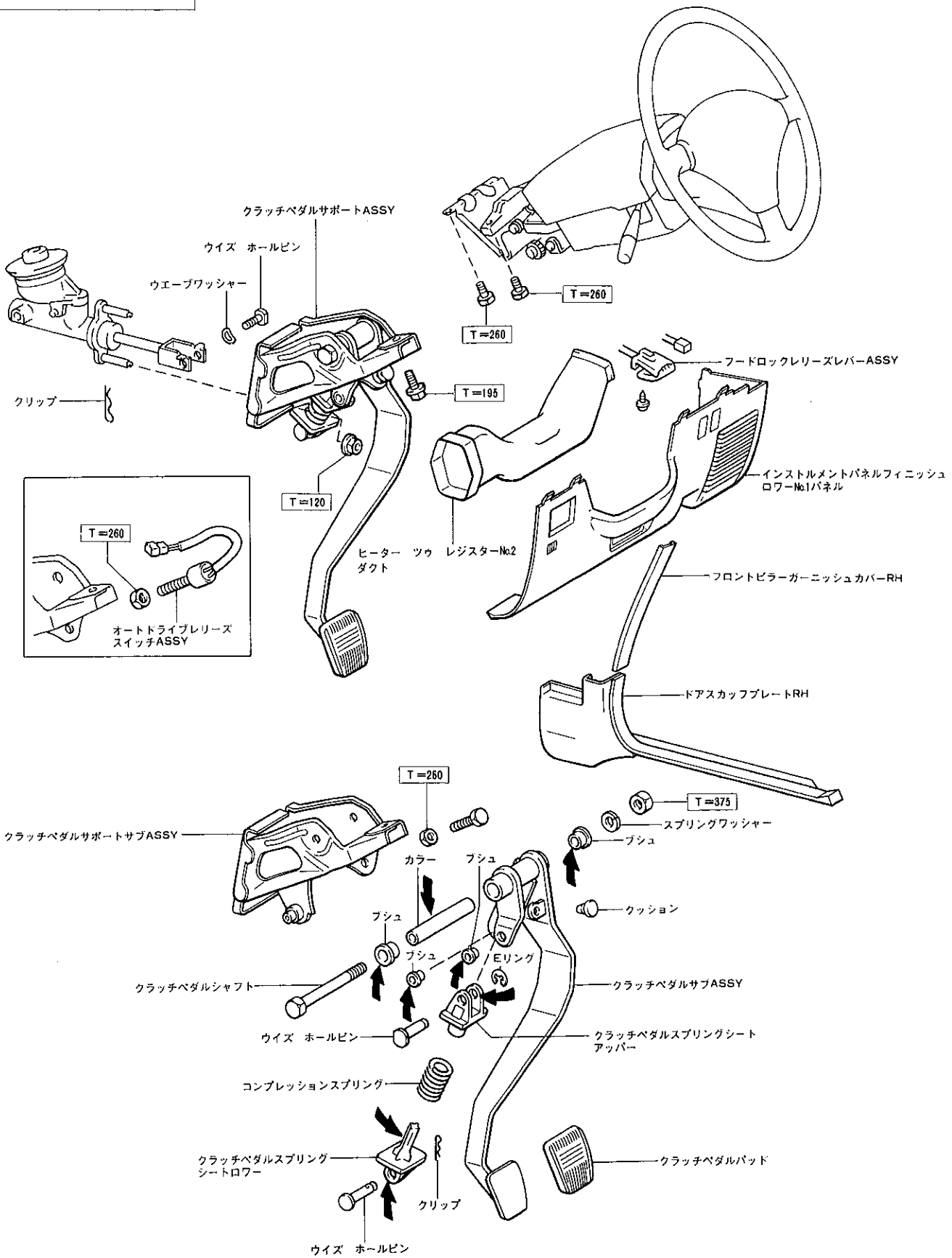
脱着分解構成図

ターンオーバーなし車



X0769

ターンオーバー付き車



◀.....キヤッスル・MPグリースNo.2塗布

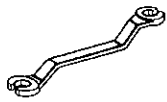
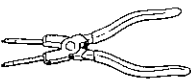
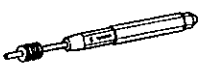
.....締め付けトルク (kg・cm)

X0770

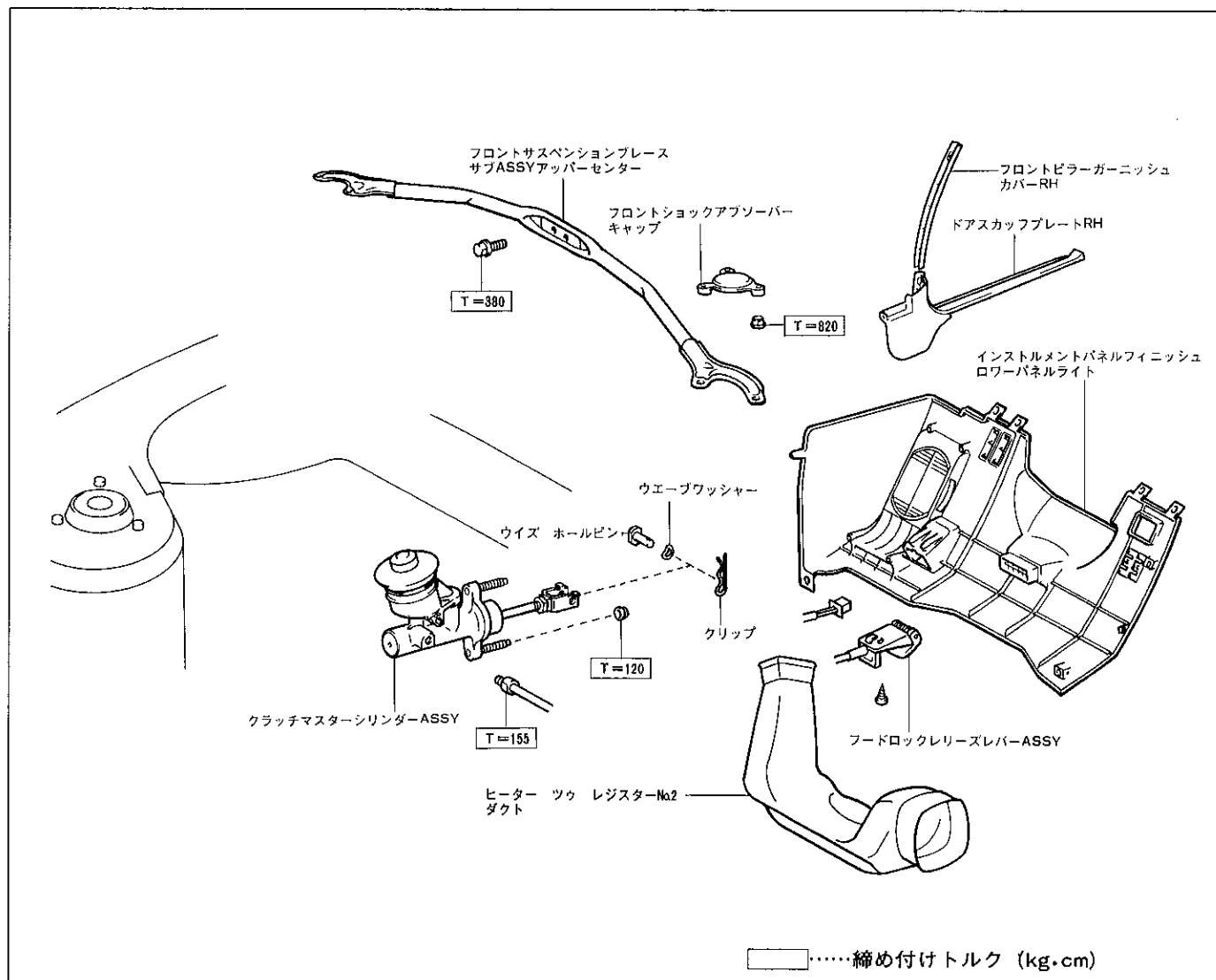
4

クラッチマスターシリンダー

準備品

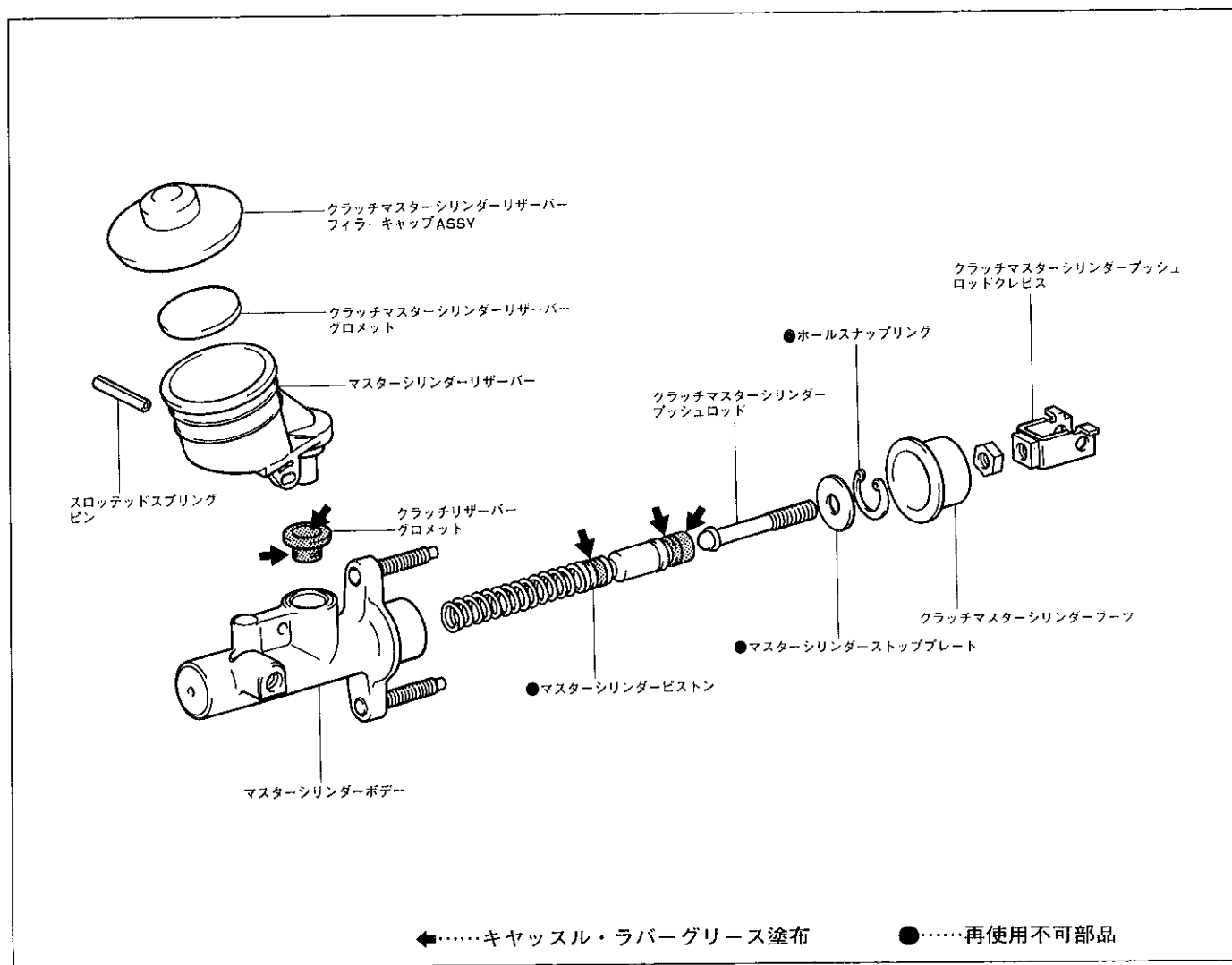
S S T		09751-36011 ブレーキチューブユニオンナットレンチ	クラッチチューブ切り離しおよび接続用
		09905-00013 スナップリングプライヤー	スナップリング脱着用
工 具		09031-00040 ピンポンチ	スロットッドスプリングピン脱着用
	キヤッスル・ラバーグリス		各部への塗布用
油 脂 その他	トヨタブレーキフルード2500H		ブレーキエア抜き用

脱着構成図



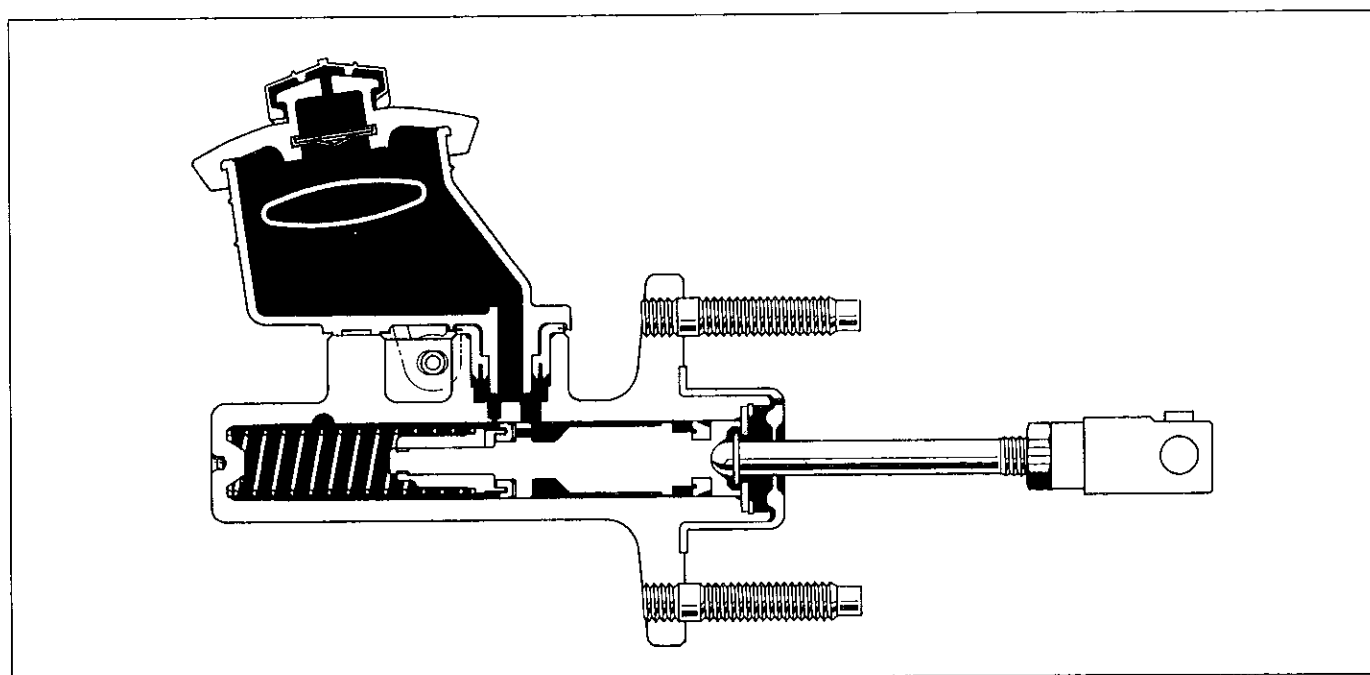
X0771

分解構成図

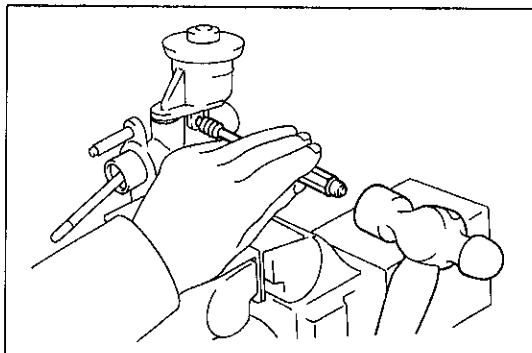


X0772

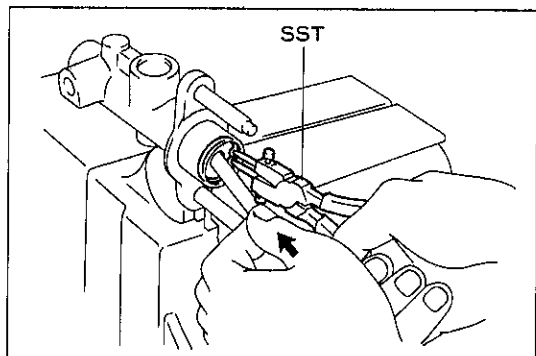
断面図



AD0113



X0773



X0774

マスターシリンダー分解

- 1 プッシュロッドクレビスおよびロックナット取りはずし
- 2 マスターシリンダーブーツ取りはずし
- 3 マスターシリンダーリザーバー取りはずし
 - (1) アルミ板を介してマスターシリンダーをバイスに固定する。
 - (2) ピンポンチを使用して、スロットッドスプリングピンを打ち抜き、リザーバーを取りはずす。
 - (3) リザーバーからキャップおよびフロートを取りはずす。
 - (4) グロメットを取りはずす。
- 4 マスターシリンダーピストン取りはずし
 - (1) プッシュロッドを押しながらSSTを使用して、スナップリングを取りはずす。

SST 09905-00013

- (2) プッシュロッドおよびストッププレートを取りはずす。
- (3) ピストンをまっすぐに取りはずす。

注意 ピストンを傾けて抜くとシリンダー内面を傷つけるおそれがある。

マスターシリンダー組み付け

- 1 キヤッスル・ラバーグリース塗布
(P4-5参照)
- 2 マスターシリンダーピストン組み付け

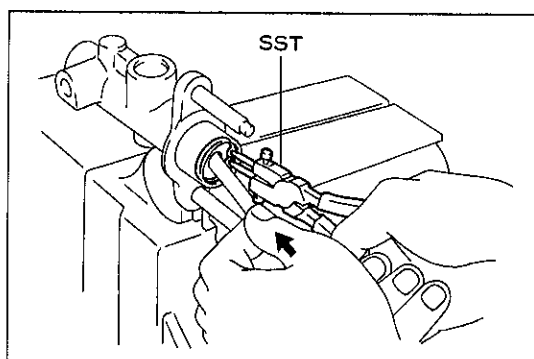
- (1) マスターシリンダーをバイスに固定する。
- (2) 新品のピストンをまっすぐマスターシリンダーに挿入する。

注意 ・ピストンを傾けて挿入するとシリンダー内面を傷つけるおそれがある。

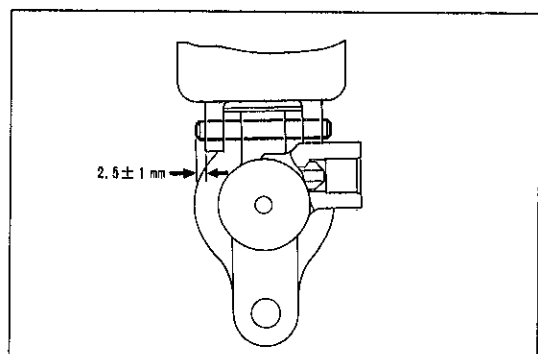
・カップのリップ部を傷つけない。

- (3) プッシュロッドを押し込んだ状態でSSTを使用して、新品のストッププレートおよび新品のスナップリングを組み付ける。

SST 09905-00013



X0774



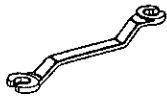
X0775

- 3 マスターシリンダーリザーバー組み付け
 - (1) 新品のグロメットをマスターシリンダーボデーに組み付ける。
 - (2) フロートおよびキャップをリザーバーに組み付ける。
 - (3) ピンポンチを使用して、スロットッドスプリングピンを図に示す寸法まで打ち込む。
- 4 マスターシリンダーブーツ組み付け
- 5 ロックナットおよびプッシュロッドクレビス組み付け

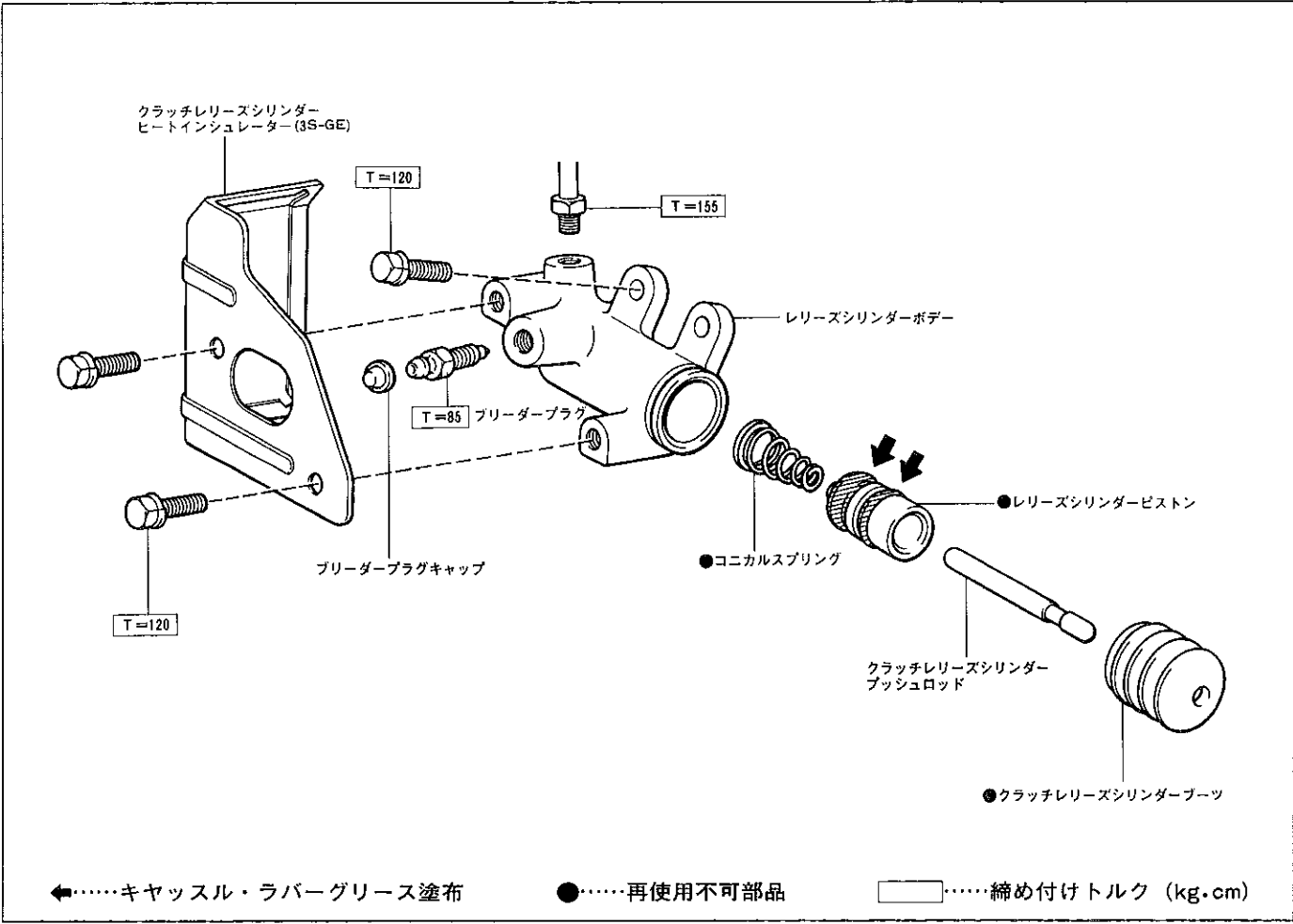
基準値 2.5 ± 1 mm

クラッチリリースシリンダー

準 備 品

S S T	 09751-36011 ブレーキチューブユニオンナット トレンチ	クラッチチューブ切り離しおよび接続用
油 脂 その他	キヤッスル・ラバーグリース	各部への塗布用
	トヨタブレーキフルード2500H	クラッチエア抜き用

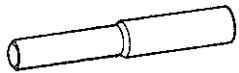
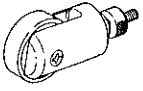
脱着分解構成図



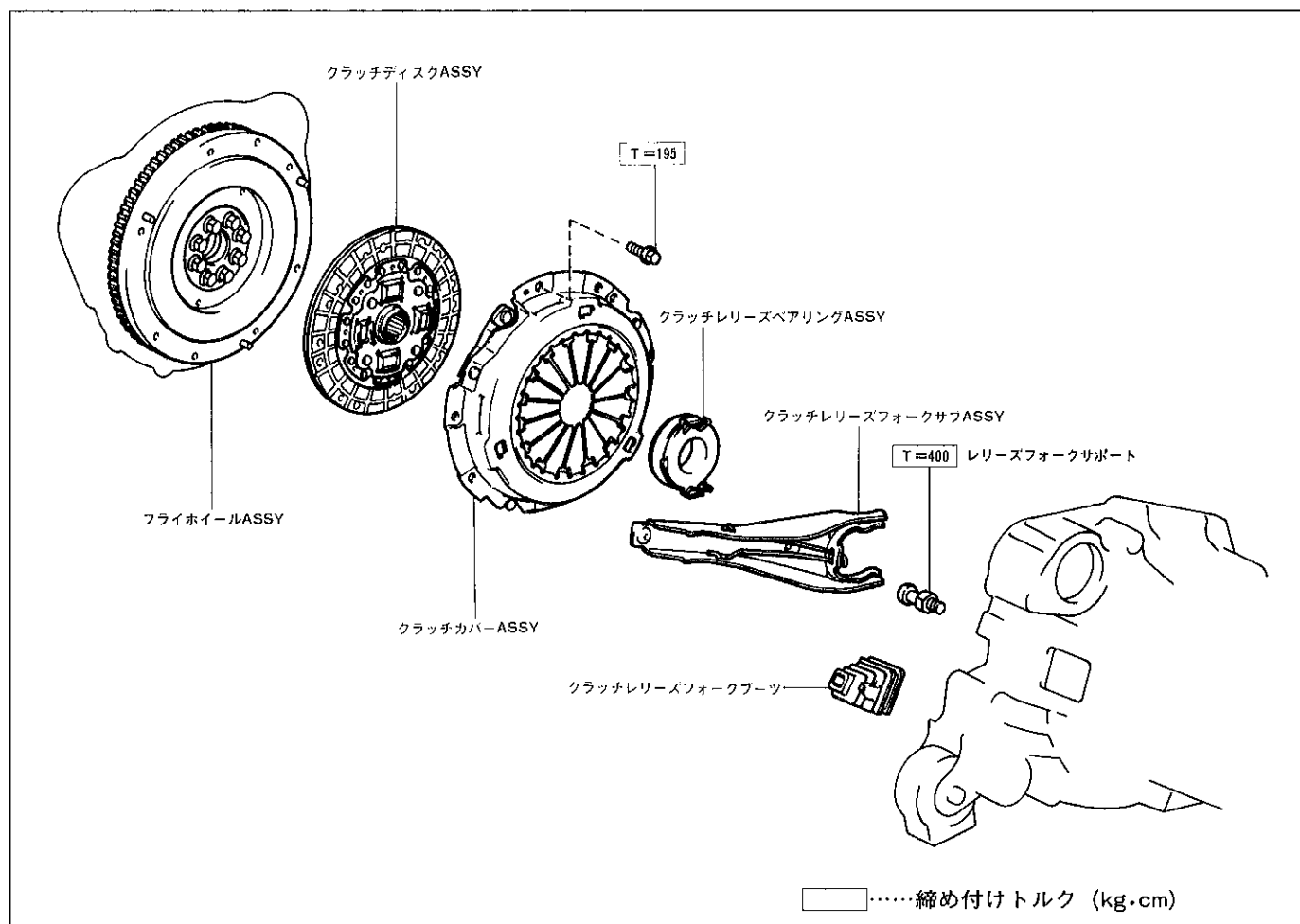
X0776

クラッチ本体

準 備 品

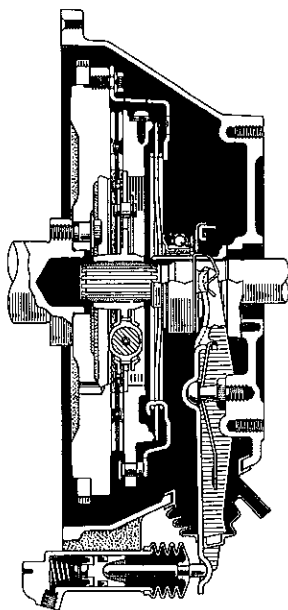
S S T		09301-32010 クラッチガイドツール	クラッチディスクガイド用
		09333-00013 クラッチダイヤフラムスプリングアライナー	ダイヤフラムスプリングフィンガー部高さ調整用
計 器		(株)バンザイ 弥栄工業扱い ローラー測定子 AA-828	クラッチ本体点検用
	ダイヤルゲージ		クラッチ本体点検用
	ノギス		クラッチ本体点検用
油 脂 その他	キャッスル・クラッチリリースハブグリース		クラッチリリース系への塗布用
	キャッスル・クラッチスプライングリース		クラッチスプラインへの塗布用

脱着構成図



X0990

断面図



AD0112

クラッチ本体取りはずし

注意 クラッチディスクのライニング部、プレッシャープレートおよびフライホイールの表面に油脂、異物などを付着させない。

- 1 トランスアクスルASSY取りはずし
- 2 クラッチカバーおよびクラッチディスク取りはずし

注意 フライホイールとクラッチカバーに合わせマークを付ける。

- 3 クラッチリリースベアリングおよびフォーク取りはずし
- 4 クラッチリリースフォークブーツ取りはずし
- 5 レリーズフォークサポート取りはずし

クラッチ構成部品の点検

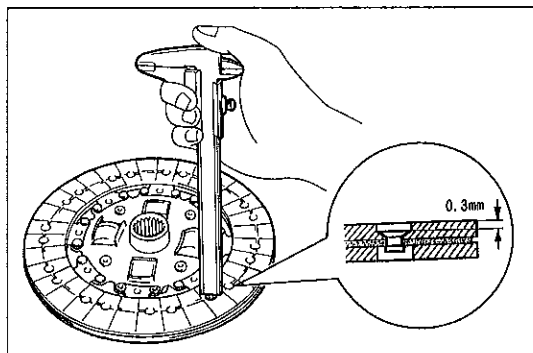
1 クラッチディスク点検

- (1) フェーシングの摩耗を点検する。

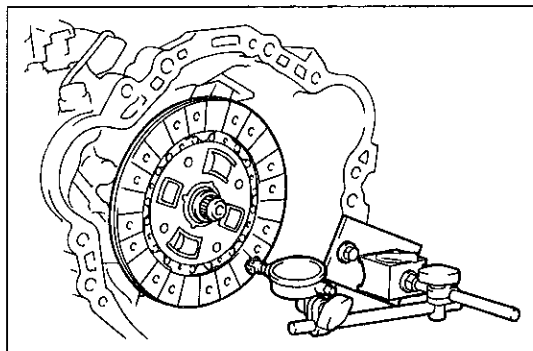
限 度 (リベット沈み込み量) 0.3mm

- (2) ローラー測定子を付けたダイヤルゲージを使用して、クラッチディスクを回転させクラッチディスクの振れを点検する。

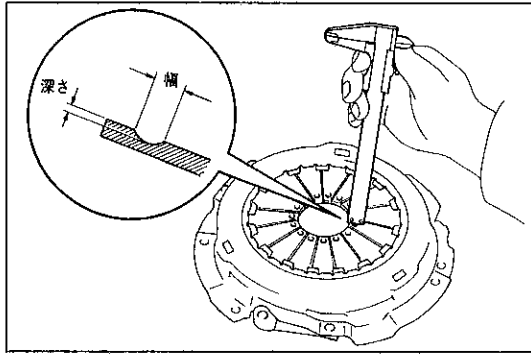
限 度 0.8mm



D 7019



K 5535

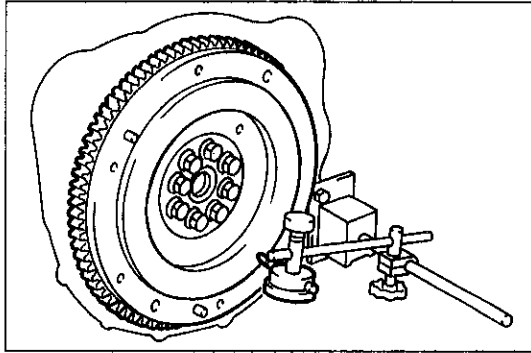


E5877

2 ダイアフラムスプリング点検

- (1) ダイアフラムスプリングフィンガー部（リリースベアリングとの当たり面）の摩耗を点検する。

限 度	深さ	0.6mm
	幅	5.0mm

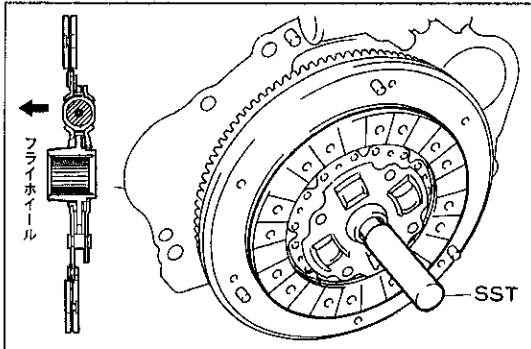


X0991

3 フライホイール点検

- (1) フライホイールの振れを点検する。

限 度	0.1mm
-----	-------



X0777 K5537

クラッチ本体取り付け

1 クラッチディスクおよびクラッチカバー取り付け

- (1) SSTを使用して、クラッチディスクをセンタリングする。

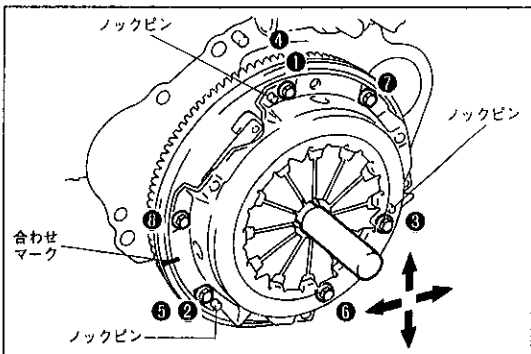
SST 09301-32010

- (2) フライホイールとクラッチカバーの合わせマークを合わせ、ノックピンに近い側のボルトから図中番号順に締め付ける。

T=195kg・cm

注意 SSTを上下左右にゆすり、ディスクが中心位置にあることを確認しながら締め付ける。

＜参考＞ ①、②は仮締め。

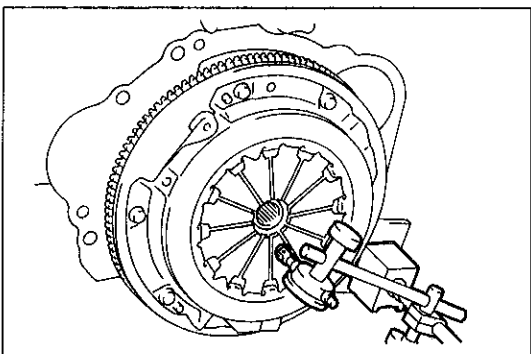


K5538

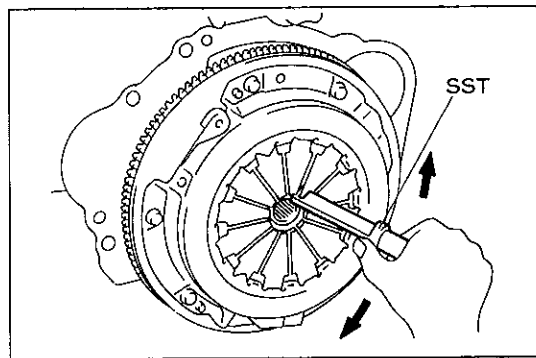
2 ダイアフラムスプリングフィンガー部高さ不ぞろい点検、修正

- (1) ローラー測定子を付けたダイヤルゲージを使用して、フライホイールを回転させフィンガー部の高さ不ぞろいを点検する。

限 度	0.5mm
-----	-------



K5539



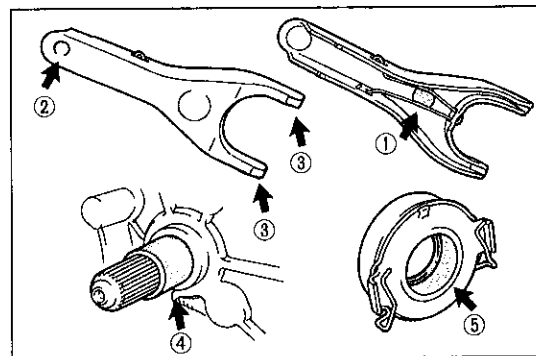
K5540

- (2) 限度を超える場合は、SSTを使用して、フィンガー部の高さ不ぞろいを修正する。

S S T 09333-00013

3 リリースフォークサポート取り付け

T=400kg・cm

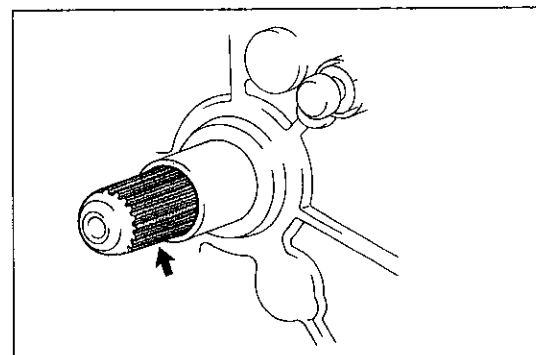


K5136

4 グリース塗布

- (1) 下記箇所にキヤッスル・クラッチリリースハブグリースを塗布する。

- ① リリースフォークサポートの当たり面
- ② リリースシリンダープッシュロッドの当たり面
- ③ リリースベアリングハブ部との当たり面
- ④ ベアリングリテーナー
- ⑤ ベアリングハブ内面の溝部および内壁面全域



K5137

- (2) 下記箇所にキヤッスル・クラッチスプライングリースを塗布する。

- ① インプットシャフトのスプライン部

5 クラッチリリースフォークブーツ取り付け

6 クラッチリリースベアリングおよびフォーク取り付け

注意 取り付け後、フォークを前後に動かしハブがスムーズに摺動することを確認する。

7 トランスアクスルASSY取り付け

